



# 耳川水系総合土砂管理計画

平成23年10月

(平成27年7月、令和6年3月変更)

宮崎県

# 目次

---

はじめに

県土整備部長 児玉 宏紀

## I 耳川水系総合土砂管理計画要旨

### 1 耳川水系総合土砂管理の背景

## II 耳川水系総合土砂管理計画本文

### 1 「基本的な考え方」

### 2 「行動計画」

あとがき

耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会委員長

杉尾 哲

はじめに

宮崎県県土整備部長 児玉宏紀



耳川流域は、平成17年の台風14号で土砂に起因する甚大な被害が発生したことから、山地から海に至るまでの総合的な土砂管理の在り方が課題となっていました。このため、平成21年7月に諸塚村において第1回の総合土砂管理に関する技術検討会を開催したのを皮切りに、地域や関係機関の皆様から様々な御意見をいただきながら2年余りの歳月をかけて「耳川水系総合土砂管理計画」を策定したところであります。

この計画は、流域共通の目標を定めた「基本的な考え方」と、目標実現のための役割分担や行動した後の評価手法を明確にした「行動計画」とで構成しており、総合土砂管理上の課題解決に向けて、河川管理者のみならず流域全体の様々な関係者が共通認識の下連携して、行動していくことを位置付けた点が意義深いものであると考えております。

これまでに計画策定に携わっていただいた検討会委員や地域の皆様、流域市町村をはじめ九州電力株式会社など関係機関の方々に対し、この場をお借りして心からお礼を申し上げます。

今後は、「耳川を良い川とする」ために森林（もり）から海まで流域一体となって、関係者が「行動計画」に基づいた対策を実施し、地域住民と共にその結果を評価し適宜改善しながら、継続的に取り組んで参りたいと考えておりますので、関係者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

## I 耳川水系総合土砂管理計画要旨

### 1 耳川水系総合土砂管理の背景

耳川水系では、近年において平成5年の台風7号から平成17年9月の台風14号までの過去15年間に4回の大きな浸水被害を受けました。

耳川における浸水被害は河川やダムへ流入してくる土砂の堆積がその原因の一つとなっていることから、山地を含めた流域全体での総合土砂管理について検討していくことが大きな課題となっていました。

このようなことから、耳川水系の山地から河川、ダム、河口域までの土砂に起因する様々な課題に対して、関係機関と情報を共有しながら連携・協力し、総合的な土砂管理の課題解決に向けて、技術的に検討することを目的に、学識経験者等からなる耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会を設置しました。

総合土砂管理の実施にあたっては、関係市町村、関係者、地域の方々の合意形成が重要であることから、地域の方々を含めて議論する場としてワーキンググループを設置し、流域共通の目標である「基本的な考え方」と、役割分担を明確にした「行動計画」とで構成された「耳川水系総合土砂管理計画」を策定しました。

「耳川水系総合土砂管理計画」の策定経緯

○平成 21 年 7 月：第 1 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

○平成 22 年 1 月：第 2 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

・平成 22 年 3 月：第 1 回 河口・海岸領域ワーキング

・平成 22 年 7 月：第 1 回 ダム・河道領域ワーキング

・平成 22 年 9 月：第 1 回 山地領域ワーキング

・平成 22 年 11 月：第 2 回 河口・海岸領域ワーキング

・平成 22 年 12 月：第 2 回 ダム・河道領域ワーキング

・平成 22 年 12 月：第 2 回 山地領域ワーキング

延べ 9 回の  
ワーキングを  
実施

○平成 23 年 2 月：第 3 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

※「基本的な考え方」(原案) 提示

・平成 23 年 3 月：地元説明会 (日向市美々津地区、日向市東郷地区)

・平成 23 年 5 月：地元説明会 (美郷町、椎葉村、諸塚村)

延べ 5 回の  
地元説明会  
を実施

○平成 23 年 7 月：第 4 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

※「基本的な考え方」策定、「行動計画」(素案) 提示

・平成 23 年 8 月：第 3 回 河口・海岸領域ワーキング

・平成 23 年 9 月：第 3 回 ダム・河道領域ワーキング

・平成 23 年 10 月：第 3 回 山地領域ワーキング

○平成 23 年 10 月：第 5 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

※「行動計画」策定

## Ⅱ 耳川水系総合土砂管理計画本文

1 「基本的な考え方」

2 「行動計画」